

わせだっ子



後期、新たな気持ちで スタート！！

後期がスタートしました。季節は秋を迎え、読書に、勉強に、スポーツにと何事にも集中して取り組みやすい時です。後期開始の朝会で、宇宙飛行士の若田光一さんの「失敗してもいい。人間は失敗する。でも・・・。」という言葉を紹介し、失敗を恐れず小さな失敗からも教訓を得て自分自身を成長させていくことの大切さを話しました。運動会ですばらしい姿を見せてくれた子ども達です。後期も自分で決めたためあてに向かって一日一日を大切に過ごし、さらに成長してくれると信じています。教職員一同、子ども達の活躍や成長をしっかり見守り共に努力していきたいと思っております。これからもご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。

～前期の学習を振り返って～

福祉教育

本校では、毎年障がい者理解学習を行っています。今年は7月に4年生が点字学習、5年生が車いす体験学習を東区社会福祉協議会の方と早稲田学区社会福祉協議会の方のご支援をいただき、理解を深めました。

4年生は目の不自由な方のお話を伺った後、各教室で点字の仕組みなどを教えていただき、点字を実際に使った学習を行いました。点字で名前を書いたり好きな言葉を書いたりといろいろな練習をしました。体験学習により、点字に対する関心がさらに高まりました。



『点字学習』

5年生は、車いすの押し方や手助けの仕方などを教えていただきました。その後、実際に車いすを使って坂道やスロープなどいろいろな条件の道を進みました。しっかり体験するために、しばらく車いすをお借りし、校舎内でも車いすで移動してみました。その結果、いつも何気なく通っている所でも、車いすでは移動の難しい場所があることや、そんな時には少しでも手助けがあると助かることなどを学ぶことができました。学習したことをこれからの生活に生かしていきます。



『車いす体験学習』

P T A 朝のあいさつ運動 「おはよう・今日も一日がんばろう！」

7月8日（火）朝、地域の皆様・P T Aの皆様・教職員が通学路に立ち、子ども達の登校指導をすると共にあいさつ運動を行いました。本校ではP T A生活部の皆様を中心に、保護者の皆様が『ふれあい活動』として、登下校の見守りや夕方のパトロールにご尽力いただいております。お陰様で、4月より子ども達が全員元気に過ごし後期を迎えることができました。皆様に心よりお礼申しあげます。後期のあいさつ運動は、11月4日（火）、『子ども110の家ウォークラリー』は10月25日（土）に予定されています。どうぞよろしくお願いいたします。



『おはよう、気をつけて！』

子ども達の成長を支えてくださる地域の皆様・保護者の皆様に 心より感謝いたします

毎日の登下校や休憩時間の校内見回り、そして、障がい者理解学習での指導や支援等々で大変お世話になっております。

4月より様々な場面で子ども達のためにご尽力くださる皆様に、心よりお礼申し上げます。有り難うございます。後期もどうぞよろしくお願いいたします。

【わせだっ子の記録】

「第64回社会を明るくする運動作文コンテスト」優秀賞

『社会を明るくする運動作文コンテスト』に6年生が応募し、大村 昌代さんの作文が見事優秀作品に選ばれました。題名は『社会を明るくするために』で、クラスの目標から考えを進め、『こんなわせだっ子になろう』にある挨拶をすることの大切さとも関連させながら、自分の意見をしっかりと書き表すことができました。

10月8日に本校で、東区長 西村 正様より表彰されました。おめでとうございます。



第52回広島市科学賞受賞

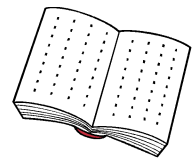
第52回広島市科学賞の受賞についてお知らせします。夏休みに行った科学研究で2名が優秀賞、19名が佳良賞を受賞しました。

《優秀賞》

清水 一平	(1年)	「みずのじっけん」
柳沢 拓人	(2年)	「ウミホテルのかんさつ」

《佳良賞》

小笠原 幸輝	(1年)	「あさがおのたね」
川畑 慶記	(1年)	「ぼくのたべたくだもののたねをうえたらどうなるだろうか？」
戸松 凜乃	(1年)	「かみのけんきゅう」
松浦 蓮	(1年)	「ドライアイスってなんだろう。」
白石 千陽士	(2年)	「たねのかんさつ」
白石 遥士	(2年)	「雲のかんさつ」
濱谷 勇心	(2年)	「色のへんしん」
山本 春花	(2年)	「りんごの色のかわり方しらべ」
藤川 永	(3年)	「花ふんのかんさつ」
吉岡 孝真	(4年)	「さわがには どうして自分よりも大きい石を動かせるの？」
赤道 大樹	(5年)	「アリのすの観察」
荒川 芽生	(5年)	「水性ペンのインクの色の子体とは？」
石川 裕真	(5年)	「根からすい上げられた水」
中村 陽太郎	(5年)	「台風の接近と天気の変化」
藤川 英	(5年)	「さん性 アルカリ性の研究」
藤田 悠未	(5年)	「音の伝わり方 音の変化」
渡辺 智也	(5年)	「液状化現象をやってみよう」
中野 雪菜	(6年)	「天気」
中村 美咲	(6年)	「土砂くずれと雨の降り方の関係」



おめでとうございます。今、日本中がノーベル物理学賞3名受賞のすばらしいニュースにわいています。科学研究は、知らないことを明らかにする楽しさや自然の不思議さ、科学的な法則を見つけるおもしろさなど、理科ならではの楽しさを味わうことができます。

これからも、「びっくりした！！なんでだろう？どうしてそうなるのだろう？」と身近な事物に目を向け、たくさん『？』と『！』をみつけてください。教科の枠を越えていろいろな発見をし、調べることや考えることの楽しさを経験することができます。夢は大きく、めざせ！！未来のノーベル賞。

